

「熊本県心のケア事業」の概要

予備費予算額: 46百万円

- ✓ 災害復興期における精神保健上の問題としては、心的外傷後ストレス障害(PTSD)や悲嘆を主体とするトラウマ反応だけでなく、生活再建プロセスで生じる二次的ストレスを起因とした心身の変調の問題などが指摘されており、**中・長期にわたる支援の枠組みが必要**。
- ✓ 中・長期間継続した精神保健活動を行う拠点として「熊本県心のケアセンター（仮称）」を新たに平成28年10月（予定）に設け、精神保健医療行政機能及び精神医療サービスを**補完する支援**を行い、被災地の精神保健福祉の強化を図る。

● 事業概要

1. 実施主体

- 熊本県

2. 事業内容

- 災害時の復興期のプロセスでは、PTSDを主体とするトラウマ反応だけでなく、生活再建プロセスで生じる二次的ストレスから生じる心身の変調が大きな課題となる。
- このため、地域のネットワークの形成、仮設住宅入居者等への訪問支援等(アウトリーチ)などが必要。
- 中・長期間継続した精神保健活動を行う拠点として「熊本県心のケアセンター（仮称）」を設け、災害後の環境への不応をもたらず被災者の精神疾患や症状を最小化していく。

● 事業スキーム

